第 5 回　火山検討会　議事録

１．開催日時：平成１９年 4 月１８日（水）１０：００～１２：００

２．開催場所：日本電気協会　B会議室

３．出席者：（順不同，敬称略）

□ 委　員：衣笠主査（東京工業大学），中田副主査（東京大学地震研），
□ 酒井・武田（東京電力），仲田（中部電力）、四家(北海道)
□ 橋本(東北電力)、片川（北陸電力）、大野（四国電力）、田中（九州電力）、
伝法谷（電源開発）、岡島（ﾘｻｲｸﾙ燃料貯蔵）、三浦・土志田(電中研)、
□ 小林（日本原燃）（計 15 名）
□ 代理出席：秋山（関西電力・金谷代理）、吉次(中国電力・川本代理)、
□ 森（日本原子力発電・北川代理）（計 3 名）
□ 常時参加者：河野（電源開発）、内山(原子力安全基盤機構)（計２名）
□ オブザーバ：小鶴(九州電)、向山(国際航業)（計２名）
□ 事務局：荒木（日本電気協会）（計１名）

４．配布資料

資料 No.5-1　第４回火山検討会　議事録（案）

資料 No.5-2　JEAG 火山影響評価指針(仮称)　(案)

参考資料－１　噴出源を特定せず考慮する火山灰の層厚について

５．議事

（１）出席者及び前回議事録（案）の確認

事務局より、本日の代理出席者は３名であり、代理出席者については規約に基づき衣笠主査の承認を頂いた。また、代理出席を含む出席委員は１８名であり、規約上、決議に際して求められる委員総数の２／３以上の出席であることが確認された。

また、事務局より前回議事録（案）の紹介を行い、挙手による採決の結果、出席者全員の賛成で了承された。

（２）JEAG 火山影響評価指針(仮称) 案の審議

冒頭、幹事より 3/22 耐震設計分科会で概要説明した際に、考えるべき現象を定性的に記すのみではなく、設計側で考慮すべき事象については定量的に踏み込んで検討して欲しい他のコメントがあった旨の紹介があった。

その後、資料 No.5-2 により JEAG 火山影響評価指針(仮称) (案)について説明が行われ審議した。

本日のコメントをふまえ、各委員で再コメントがあれば、27 日までに幹事又は伝法谷委員に連絡することとした。

主なコメントを以下に示す。

・1.3 影響評価の基本方針の解説で「活火山」は、「活動的な火山」に修正すること。

・本文添付 2.2 調査対象とすべき火山現象と敷地との位置関係で火山ガスの対象は、

他の火山現象でピックアップされたものと読めるように記載を見直すこと。

・2.1.1.2 調査対象の火山現象の解説で「地下水異常」は、「地下水の異常」又は「地下水の異状」とすべきか専門家の意見を確認し修文のこと。

・2.2.1.1 活動の可能性を考慮すべき火山の本文で、「火山の活動規模」は「火山の噴火規模」に修文のこと。

・2.2.1.2 安全性への影響を考慮すべき火山現象の本文で、火山現象の表現が 2.1.1.2 調査対象の火山現象の表現と整合が取れてないので見直すこと。

また、火山ガスに対する措置の必要性の記載は、2.2.2 詳細設計段階において施設への影響を評価するための検討事項で記載されているので、本項からは削除のこと。

・本文添付 2-1 火山影響評価の流れで、新火口形成の可能性は、もっと早い段階とし、考慮すべき火山現象の判断の後に移すこと。

・2.2.2 詳細設計段階において施設への影響を評価するための検討事項の解説で、雪荷重との組み合わせについては、ステップⅠでの指針で規定すべき内容を超えているので削除する。

・解表 2.1.1.3-1 わが国における第四期火山の火山噴出物の既往最大到達距離の表で、土石流可能性は想定値であるので、本表から削除する。

（3）その他

次回検討会開催日は、別途連絡することとした。

以　上